

5 平成 28 年岩手国体に向けた取り組みについて

平成 24 年 7 月 24 日
国 体 推 進 室

平成 28 年岩手国体に向けての開催準備につきましては、昨年度までは教育委員会スポーツ振興課内で準備作業を進めておりましたが、昨年 12 月に岩手県が国体開催の方針を表明し、本市においても本年度スポーツに関する業務が市長部局へ移管すると同時に市民部スポーツ推進課内に国体推進室を設置し、5 月には盛岡市準備委員会を設立し、平成 28 年度の岩手国体盛岡市開催競技の準備を本格的に進めているところです。

平成 28 年の岩手国体は、「復興のシンボル」となる大会と位置付け、東日本大震災からの復興を推し進めながら国体への開催準備も行い、先催県の例にとられない「新しい岩手型国体」として開催するものです。本市としましても、国体が実り多い大会となるよう、県都として開催の準備を進めるとともに、多くの岩手県選手が輝かしい成績を収めるよう各種施策を推進し、国体を契機として競技力の向上はもとより生涯を通じてスポーツを楽しめる環境の整備に努めてまいります。

1 準備組織

盛岡市準備委員会

- ・会長(1) 盛岡市長
- ・副会長(8) 盛岡市議会議長、盛岡商工会議所会頭、あすを築く盛岡市民運動実践協議会会長、盛岡市町内会連合会会長、盛岡市体育協会会長、盛岡市副市長、盛岡市教育委員会教育長
- ・常任委員(45) 盛岡市議会副議長、盛岡市議会総務常任委員会委員長、盛岡市議会教育福祉常任委員会委員長、盛岡市議会産業環境常任委員会委員長、盛岡市議会建設常任委員会委員長、岩手県競技団体、盛岡市部長級 他
- ・監事(2) 盛岡市青年会議所理事長、盛岡市会計管理者
- ・委員(59) 盛岡市競技団体、教育関係者、輸送関係者、宿泊関係者、産業・経済関係者、社会・市民団体関係者 他
- ・顧問(10) 盛岡選挙区選出県議会議員
- ・参与(65) 盛岡市議会議員、各警察署長、各大学学長、報道関係者 他

2 準備スケジュール

- (平成 24 年度) 8/24 第 1 回盛岡市準備委員会常任委員会
随時 各専門委員会開催
- (平成 25 年度) 7 月 第 71 回国民体育大会正式決定(開催期日も決定)
未定 日本体育協会、文部科学省総合視察

	未定	第2回盛岡市準備委員会常任委員会
	未定	第2回盛岡市準備委員会総会
		第1回盛岡市実行委員会総会（実行委員会に改組）
	随時	各専門委員会
(平成26年度)	未定	第1回盛岡市実行委員会常任委員会
	未定	第2回盛岡市実行委員会総会
	随時	各専門委員会
(平成27年度)	未定	中央競技団体第2次正規視察
	未定	各競技リハーサル大会開催
	未定	第2回盛岡市実行委員会常任委員会
	未定	第3回盛岡市実行委員会総会
	随時	各専門委員会
(平成28年度)	未定	第3回盛岡市実行委員会常任委員会
	未定	第4回盛岡市実行委員会総会
	随時	各専門委員会
	10月	第71回国民体育大会開催
	未定	第5回盛岡市実行委員会総会

3 国体に向けた選手強化

- ・岩手県 優秀チーム及び選手を選抜し、県内外において強化練習会，強化合宿，県外遠征，県外チーム招聘等に係る強化策に対して助成事業を実施
- ・盛岡市 岩手県で実施している選手強化策とは別の視点での選手強化事業を検討

4 施設環境の整備

(1) 選手強化施設としてのひまわり荘の活用

- ・目的 県外からの強豪チームや選手を招聘し強化試合を行う際や長期の合宿を行う場合の合宿施設として，現在閉館中の国保連所有の「ひまわり荘」を借り受け，国体に向けての選手強化施設として活用する。
- ・開館時期 平成26年4月（予定）
- ・収容人員 99人
- ・管理運営方法 指定管理者

(2) 多目的運動場の新設

- ・目的 近隣に市立太田テニスコート，県立御所湖漕艇場，県営屋内温水プール等のスポーツ施設が集積するつなぎ地域に，新たにサッカー競技が可能な多目的運動場を整備し，活用を検討している「ひまわり荘」と連動したスポーツ施設環境の拡充を図る。
- ・場所 御所湖広域公園内
- ・施設規模 人工芝115m×80m，照明塔（6基），管理棟
- ・開設時期 平成26年4月（予定）
- ・管理運営方法 指定管理者

(3) 国体使用予定施設の状況

競技名	競技会場	中央競技団体の指摘事項	備考
水泳	市立総合プール	飛込プール，サブプールが屋外であるため，開催には無理がある。屋内施設での開催の検討を望む	
サッカー	盛岡南公園球技場	指摘なし	
	県営運動公園	審判控室，シャワー室，選手控室の確保 天然芝の養生	
テニス	市立太田テニスコート	人工芝の張替 キャンプ場トイレ改修 クラブハウス内にシャワー室設置	H25～H26
体操	アイスアリーナ	指摘なし	
ライフル射撃	県警察学校射撃場	(視察未実施)	
山岳	県営運動公園	(視察未実施) ※ボルダリング競技については会場未定	
カヌー	御所湖広域公園漕艇場	(視察未実施)	
空手道	県営武道館	指摘なし	
ボウリング	ビッグハウススーパーレーン	指摘なし	
高校野球	県営野球場	経年劣化によるラバーフェンスの見直し	

5 優秀なスポーツ選手・指導者の獲得

(1) 市職員のスポーツ枠採用

- ・趣 旨 多様な人材の確保と国体に向けたスポーツ活動の推進及び競技力向上を目的に，スポーツにおいて優れた実績を収めた人材を募集する。
- ・採用予定 平成 25 年 4 月 1 日
- ・採用人数 若干名
- ・受験資格 高校在学時以降に全国大会以上の大会で実績があること
採用後においても現役を続行する予定であること

盛岡市準備委員会役員・委員等名簿

職名	所属・役職等	氏名
会長(1)	盛岡市長	谷藤 裕明
副会長(8)	盛岡市議会議長	村田 芳三
	盛岡商工会議所会頭	元持 勝利
	あすを築く盛岡市民運動実践協議会会長	高橋 真裕
	盛岡市町内会連合会会長	晴山 貞美
	公益財団法人盛岡市体育協会会長	長澤 茂
	盛岡市副市長	佐藤 光彦
	盛岡市副市長	細田 敬一
	盛岡市教育委員会教育長	千葉 仁一
常任委員(45)	盛岡市議会副議長	佐々木 信一
	盛岡市議会総務常任委員会委員長	遠藤 政幸
	盛岡市議会教育福祉常任委員会委員長	天沼 久純
	盛岡市議会産業環境常任委員会委員長	鈴木 一夫
	盛岡市議会建設常任委員会委員長	藤村 秀利
	盛岡市医師会会長	和田 利彦
	盛岡市歯科医師会会長	柴田 理
	盛岡薬剤師会会長	高砂子 修作
	財団法人盛岡観光コンベンション協会理事長	元持 勝利
	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長	澤田 克司
	社会福祉法人盛岡市社会福祉協議会会長	桑島 博
	岩手県水泳連盟理事長	佐々木 豊実
	社団法人岩手県サッカー協会会長	高橋 和宏
	岩手県テニス協会会長	中嶋 芳也
	岩手県体操協会会長	佐々木 一郎
	岩手県ライフル射撃協会理事	梅里 邦五郎
	岩手県山岳協会会長	高橋 時夫
	岩手県カヌー協会会長	橘 誠
	岩手県空手道連盟副理事長	高橋 徹
	岩手県ボウリング連盟会長	吉田 几生
	岩手県高等学校野球連盟会長	佐々木 淳
	盛岡市小学校体育連盟会長	齋藤 直子
	盛岡市中学校体育連盟会長	佐賀 文行
	岩手県高等学校体育連盟盛岡支部長	高橋 嘉雄
	盛岡市スポーツ推進委員協議会会長	村里 洋子
	盛岡市市長公室長	東藤 郁夫
	盛岡市総務部長	菊地 昭夫
	盛岡市消防防災監	長岡 利明
	盛岡市財政部長	獅子内 建二
	盛岡市高齢者医療対策監	浅沼 秀夫
	盛岡市環境部長	千葉 芳幸
	盛岡市保健福祉部長	扇田 竜二

盛岡市準備委員会役員・委員等名簿

職名	所属・役職等	氏名
常任委員	盛岡市商工観光部長	大志田 和彦
	盛岡市ふるさと政策企画監	加藤 彰
	盛岡市農林部長	中川 政則
	盛岡市建設部長	及川 一男
	盛岡市都市整備部長	藤島 裕久
	盛岡市玉山総合事務所事務長	萬 明夫
	盛岡市保健所長	高橋 清実
	盛岡市中央卸売市場長	花沢 光彦
	盛岡市上下水道部長	平野 耕一郎
	盛岡市立病院事務局長	佐藤 直樹
	盛岡市議会事務局長	小山 和良
	盛岡市教育部長	佐藤 義見
	盛岡市監査委員事務局長	高橋 輝夫
監事(2)	一般社団法人盛岡青年会議所理事長	石川 啓
	盛岡市会計管理者	武田 路可
委員(59)	盛岡東警察署交通課長	田島 直樹
	盛岡西警察署交通課長	及川 聰
	紫波警察署交通課長	南部 一成
	盛岡市小学校長会会長	工藤 隆之
	盛岡市中学校長会会長	千田 順一
	岩手県高等学校校長協会盛岡支会会長	佐野 武徳
	社団法人岩手県私学協会会長	小田島 順造
	岩手県国公立幼稚園協議会会長	佐藤 拓美
	社団法人岩手県私立幼稚園連合会会長	坂本 洋
	盛岡市保育所協議会会長	佐々木 端瑛
	盛岡市PTA連合会副会長	沼田 昭
	岩手県高等学校PTA連合会盛岡地区連絡協議会理事	鎌田 達也
	東日本旅客鉄道株式会社執行役員盛岡支社長	福田 泰司
	I G Rいわて銀河鉄道株式会社代表取締役社長	菊池 秀一
	東日本電信電話株式会社岩手支店長	加藤 正幸
	東北電力株式会社盛岡営業所長	加川 浩之
	郵便局株式会社盛岡中央郵便局長	布施 茂夫
	東日本高速道路株式会社東北支社盛岡管理事務所長	渋谷 優
	一般社団法人岩手県タクシー協会盛岡支部長	工藤 浩
	岩手県レンタカー協会盛岡支部長	佐藤 裕厚
	盛岡交通安全協会会長	千葉 正
	盛岡市交通指導隊長	十倍 充
	盛岡市防犯協会会長	谷藤 裕明
	盛岡地区防火協力会会長	小暮 信人
	盛岡地区広域消防組合消防本部警防課長	舘澤 和雄
	岩手県看護協会盛岡支部長	米澤 美子

盛岡市準備委員会役員・委員等名簿

職名	所属・役職等	氏名
委員	日本赤十字社岩手県支部事務局長	早野 義夫
	岩手県中小企業団体中央会会長	谷村 久興
	社団法人岩手県経営者協会会長	佐藤 安紀
	社団法人岩手県経済同友会代表幹事	高橋 真裕
	岩手中央農業協同組合代表理事組合長	藤尾 東泉
	新岩手農業協同組合代表理事組合長	福田 稔
	盛岡市商店街連合会会長	吉田 莞爾
	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合盛岡支部長	太田代 洋一郎
	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合つなぎ支部長	間瀬 信康
	岩手県旅館ホテル生活衛生同業組合鶯宿支部長	小田 弘輝
	盛岡ホテル協議会会長	弭間 俊則
	社団法人岩手県食品衛生協会盛岡市支会会長	白澤 國雄
	岩手県料理業生活衛生同業組合盛岡支部長	小田 巖
	玉山区自治会連絡協議会会長	齋藤 勲
	盛岡市地域女性団体協議会会長	藤本 美智
	盛岡市老人クラブ連合会副会長	菅原 博一
	盛岡市教育振興推進委員会会長	八巻 恒雄
	盛岡芸術協会会長	牛越 恂
	ボーイスカウト盛岡地区協議会会長	鈴木 俊一
	ガールスカウト盛岡地区連絡協議会会長	高橋 正子
	もりおかNPO連絡協議会会長	浅沼 道成
	社団法人岩手県緑化推進委員会盛岡支部長	谷藤 裕明
	NPO法人盛岡市水泳協会理事長	小笠原 努
	盛岡市サッカー協会会長	吉田 隆一
	盛岡市テニス協会会長	八橋 徹英
	盛岡市体操協会会長	木村 昂史
	盛岡市ライフル射撃協会監事	佐々木 正広
	盛岡市山岳協会会長	四戸 寛次郎
	盛岡市空手道連盟副会長	川原 憲正
	盛岡市ボウリング協会会長	栃内 秀士
盛岡市野球協会会長	山下 竹治	
盛岡市スポーツ少年団本部長	谷藤 文明	
盛岡市レクリエーション協会会長	千葉 伸子	

盛岡市準備委員会役員・委員等名簿

職名	所属・役職等	氏名
顧問(10)	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	吉田 敬子
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	高橋 但馬
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	樋下 正信
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	小野寺 好
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	軽石 義則
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	斉藤 信
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	福井 せいじ
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	佐々木 博
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	及川 あつし
	岩手県議会議員(盛岡選挙区選出)	小西 和子
参与(65)	盛岡市議会議員	守谷 祐志
	盛岡市議会議員	櫻 裕子
	盛岡市議会議員	佐藤 千賀夫
	盛岡市議会議員	宮川 寿
	盛岡市議会議員	後藤 百合子
	盛岡市議会議員	池野 直友
	盛岡市議会議員	村上 貢一
	盛岡市議会議員	兼平 孝信
	盛岡市議会議員	中村 亨
	盛岡市議会議員	藤澤 由蔵
	盛岡市議会議員	竹田 浩久
	盛岡市議会議員	菊田 隆
	盛岡市議会議員	伊勢 志穂
	盛岡市議会議員	伊達 康子
	盛岡市議会議員	鈴木 努
	盛岡市議会議員	大畑 正二
	盛岡市議会議員	豊村 徹也
	盛岡市議会議員	細川 光正
	盛岡市議会議員	吉田 孝人
	盛岡市議会議員	金沢 陽介
	盛岡市議会議員	佐藤 栄一
	盛岡市議会議員	高橋 重幸
	盛岡市議会議員	神部 伸也
	盛岡市議会議員	庄子 春治
	盛岡市議会議員	佐藤 妙子
	盛岡市議会議員	中村 一
	盛岡市議会議員	熊谷 喜美男
	盛岡市議会議員	佐々木 弥一
	盛岡市議会議員	工藤 由春
	盛岡市議会議員	鈴木 俊祐
盛岡市議会議員	高橋 和夫	

盛岡市準備委員会役員・委員等名簿

職名	所属・役職等	氏名
参与	盛岡市議会議員	鈴木 礼子
	東北地方整備局岩手河川国道事務所長	高橋 公浩
	国土交通省東北運輸局岩手運輸支局長	鴫田 幸志
	盛岡東警察署長	吉田 修
	盛岡西警察署長	板垣 修一
	紫波警察署長	川村 邦光
	盛岡地区広域消防組合消防本部消防長	長岡 利明
	国立大学法人岩手大学学長	藤井 克己
	岩手県立大学学長	中村 慶久
	岩手医科大学学長	小川 彰
	盛岡大学学長	望月 善次
	(株)岩手日報社代表取締役社長	三浦 宏
	朝日新聞盛岡総局長	鈴木 英美
	毎日新聞盛岡支局長	荒木 功
	読売新聞盛岡支局長	遠藤 雅也
	河北新報社盛岡総局長	高橋 均
	産経新聞盛岡支局長	原 圭介
	日本経済新聞社盛岡支局長	水庫 弘貴
	岩手日日新聞社盛岡支社長	小泉 茂樹
	デーリー東北新聞社盛岡支局長	沢田 匡宏
	一般社団法人共同通信社盛岡支局長	前川 昌輝
	株式会社時事通信社盛岡支局長	山田 成貴
	有限会社盛岡タイムス社代表取締役社長	大内 豊
	NHK盛岡放送局局長	小松 敬一
	株式会社IBC岩手放送代表取締役社長	鎌田 英樹
	株式会社テレビ岩手代表取締役社長	樽崎 憲二
	株式会社岩手めんこいテレビ代表取締役社長	佐藤 滋樹
	株式会社岩手朝日テレビ代表取締役社長	富永 健治
	株式会社エフエム岩手代表取締役社長	村田 憲正
	盛岡市玉山区長	川村 裕
	盛岡市上下水道事業管理者	白根 敬介
	盛岡市病院事業管理者	加藤 章信
盛岡市代表監査委員	藤尾 善一	
盛岡市教育委員会委員長	川村 登	

平成20年1月15日第1回総会決定
平成24年1月30日第5回総会改正

第71回国民体育大会開催方針

1 基本方針

平成23年3月11日に東日本を直撃したマグニチュード9.0の大地震とそれに伴う巨大津波等により、本県においても多くの尊い命と財産が奪われた。

本県ではこの東日本大震災津波災害からの復興を目指し、全国からの支援も受けながら「いのちを守り 海と大地と共に生きる ふるさと岩手・三陸の創造」に向けて全力を挙げて取り組んでいるところである。

第71回国民体育大会は、復興への取り組みが進められている平成28年に開催されることから、本県にとって東日本大震災津波災害からの復興のシンボルとなる大会として位置付け、また、国体改革の趣旨も踏まえて先例にとらわれない「新しい岩手型国体」として開催する。

この大会の開催を契機に、岩手のスポーツ文化の振興を目指すとともに、県民が地域に誇りを持ち、共生の理念を大切にしながら、心豊かで一人ひとりが希望を抱ける金色に光り輝くふるさと岩手づくりを推進する。

2 実施目標

(1) 東日本大震災津波災害からの復興の力となる大会

国体開催を通じて地域の一体感や活力の醸成を図り、全ての県民にとって復興の力となる大会を目指す。

(2) 県民との協働を基本とする開かれた大会

大会運営の徹底した見直しにより真に必要な業務を厳選し、国、県、市町村、競技団体等との分担と協力により当該業務を進めるとともに、企業、団体、ボランティア等の参画を促進するなど、県民との協働を基本とする開かれた大会の実現を目指す。

(3) 岩手のスポーツ水準の飛躍的向上と生涯スポーツの推進を図る大会

ハイレベルなスポーツ選手や指導者の育成・強化に努め、本県スポーツ水準の飛躍的向上を図るとともに、スポーツを通して、県民が心身とも健康で心豊かな生活を送れるよう、生涯スポーツの一層の推進を図る。

(4) 岩手の魅力を再認識し全国へ発信する大会

実直で温かな人情に代表される岩手の心、美しく雄大な岩手の自然や、先

人が築き我々が受け継いできた歴史、風土、伝統、産業、食などの岩手の文化を再認識し、これら岩手の魅力を全国に発信する。

(5) 岩手らしいおもてなしの心あふれ交流を広げる大会

岩手の素晴らしさを感じることができるような心のこもったおもてなしにより、出会いと交流の輪を広げ、県民一人ひとりがエネルギーを得て、地域に元気をもたらす契機とする。

(6) 広く地域に根ざした大会

競技会場地は、県内各地に広く分散させ、地域住民の参加と連携を深めることにより、大会に対する県民意識の高揚を図るとともに、地域における体育、スポーツ、文化の振興を図る。

(7) 簡素・効率化に努める大会

競技施設は、県内の既存施設を最大限活用するなど、国体改革の趣旨も踏まえて徹底した簡素・効率化に努める。

第71回国民体育大会盛岡市開催方針

1 基本方針

国民体育大会は、わが国最大のスポーツの祭典であり、本市においても、昭和45年に開催された岩手国体を契機に、スポーツが広く市民生活に浸透するとともに、スポーツを通じた市民総参加のまちづくりが展開されるなど大きな成果を挙げ、今日まで脈々と受け継がれています。

2巡目となる第71回国民体育大会は、東日本大震災からの復興を続ける岩手県の姿を全国に発信するという特別な意味を持つ大会でもあり、県都盛岡として県や他市町村との連携を図りながら、盛岡市民の総力を結集してこの大会の成功を目指します。

盛岡市は、この大会を契機として、競技力の向上はもとより、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツを楽しみ、感動を分かち合い、スポーツを通じた元気なまちづくりに参画できる環境づくりを推進します。

さらに、「国民体育大会運営の簡素・効率化」の趣旨に則り、既存施設の有効活用等による開催経費削減に努めつつ、創意工夫とおもてなしの心で全国から訪れる方々を温かく迎え、この大会を通じて盛岡の魅力を全国に発信します。

2 実施目標

(1) 東日本大震災からの復興に向かう姿を全国に発信する大会

国民体育大会の開催を通じて、東日本大震災からの復興に向かう姿を全国に発信し、国内外からいただいた支援に対する感謝の思いを表すとともに、復興への誓いを新たにす大会とします。

(2) 市民協働による大会

市民総参加のもと、企業、団体、ボランティアなど多様な主体の参画を促し、市民協働による大会の成功を目指します。

(3) 競技力の向上と生涯スポーツ社会を推進する大会

国民体育大会の開催を契機に、選手の競技力向上、指導者の養成及び高い競技力を維持できる体制を築くとともに、市民一人ひとりが生涯にわたりスポーツを楽しめる環境づくりを推進します。

(4) 盛岡の魅力を全国にアピールする大会

全国から訪れる方々をおもてなしの心で温かくお迎えし、感動と友情の輪を広げ、豊かな自然や歴史と文化に育まれた盛岡の魅力を全国に伝える大会とします。